

## 【平成30年3月1日から平成30年5月までに当院外来診療にてアミティーザの処方を受けた患者さんへ】

当研究の対象者として該当される方にお知らせ致します。対象とされることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、お手数ですが下記連絡先までご連絡ください。

### 【研究タイトル】

飯塚病院の外来診療におけるルビプロストン<sup>\*1</sup>の使用状況調査

\*1:ルビプロストンとは、アミティーザのことです。

### 【研究背景・目的】

ルビプロストンというお薬は、上皮機能変容薬<sup>\*1</sup>と呼ばれるお薬の一つで、便秘を改善する効果があり、慢性便秘症<sup>\*2</sup>に対する新規治療薬として慢性便秘症診療ガイドラインで推奨されているお薬です。ルビプロストンの主な副作用として下痢をしたり、吐き気やむかむかする感じ（悪心）がしたりすることがあります。中でも悪心は若い女性に多いことが報告されています。また、妊娠中の女性が服用すると胎児に影響がでるとの報告があり、妊娠している方、妊娠している可能性がある方は服用できません。これらより、適切な服用と、服用前の十分な説明が必要な薬剤です。

当院では、平成30年3月より全ての診療科で処方可能となり、多様な患者さんに処方されることが考えられます。そこで、当院における使用状況について調査しました。

\*1 上皮機能変容薬：アミティーザは「クロライドチャンネルアクチベーター」とよばれる新しい作用の慢性便秘症のお薬です。このお薬は、小腸に作用して水分の分泌を増やすことで、便を柔らかくして腸管内の輸送能力を高め、自然な排便を促します。アミティーザやそれに類似する作用のお薬を総称して上皮機能変容薬と呼びます。

\*2 慢性便秘症：3日以上排便がない状態、または毎日排便があっても残便感がある状態を通常、便秘といいます。便秘は急におこる急性便秘症と、継続して発症している慢性便秘症に分類されます。

## 【研究期間・取得情報】

- ・研究期間は、平成30年6月1日から平成30年11月24日
- ・対象：平成30年3月1日から平成30年5月31日までに当院外来診療にてアミティーザカプセル24 $\mu$ gの処方を受けた患者さん
- ・取得情報：年齢、性別、処方診療科、用法、用量、併用薬

## 【個人情報の取扱い】

研究の際の個人情報の取り扱いは、研究責任者により厳重に管理され、外部への研究発表の際には患者さん個人を特定する情報は含まないようにして行います。

研究の対象となることを望まない旨の申し出があった場合には、ただちに研究対象から除外します。なお、匿名化（データの識別のために個人を特定できる情報を番号・記号等に置き換えること）を行った後の患者さんの情報については、研究から除外できない場合もありますのでご了承下さい。

## 【診療記録(カルテ)等の開示について】

当院は、研究に使用しました患者さんの診療記録等について、患者さんが開示を求められた場合には、遅滞なく内容を確認し、当院の「患者情報の提供等に関する指針」に従って対応いたします。当院の診療記録等に関してのご質問や患者さんの個人情報のお問い合わせは、下記、「問い合わせ先」にてお受けいたします。

- ・診療記録を複写・印刷する場合の料金：枚数×20円＋消費税

## 【研究組織】

研究責任者：飯塚病院 薬剤部 金澤 康範

## 【問い合わせ先】

飯塚病院 薬剤部 長崎 皓光  
〒820-8505 福岡県飯塚市芳雄町3-83  
TEL：0948-22-3800（代表）